

2023.3.17 winter



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟の 土地改良

新潟県土地改良

事業団体連合会

Vol.618

令和4年度 第4号

Contents

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 農業農村整備事業に関する意見交換会(国予算キャラバン)・・・1 | 令和4年度 ほ場整備地区営農プラン意見交換会・・・7 |
| 第44回 全国土地改良大会 沖縄大会・・・3 | 非補助農業基盤整備資金のご案内・・・8 |
| 新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会・・・4 | みのりみらいプラザの見学／ |
| 令和4年度 北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会・・・5 | 令和4年度 安全管理推進ポスターについて・・・9 |
| 令和4年度 土地改良区(連合)理事監事合同研修会・・・6 | 連合会日誌／表紙写真紹介・・・10 |

農業農村整備事業に関する意見交換会 (国予算キャラバン)

去る2月8日、新潟県自治会館(新潟市)において、農業農村整備事業に関する意見交換会(国予算キャラバン)が開催されました。

この意見交換会には、農業農村整備事業を巡る地域の課題・要望等についての意見交換を目的に、農林水産省、新潟県農地部、市町村、土地改良区など約70名が出席しました。

新潟県農地部の登り部長の挨拶で開会し、農林水産省農村振興局水資源課の緒方課長から農業農村整備事業に関する令和5年度予算概算決定の概要について説明が行われた後、農林水産省と市及び土地改良区との意見交換が行われました。



< 緒方課長 >



< 意見交換会の様子 >

農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

(単位:億円)

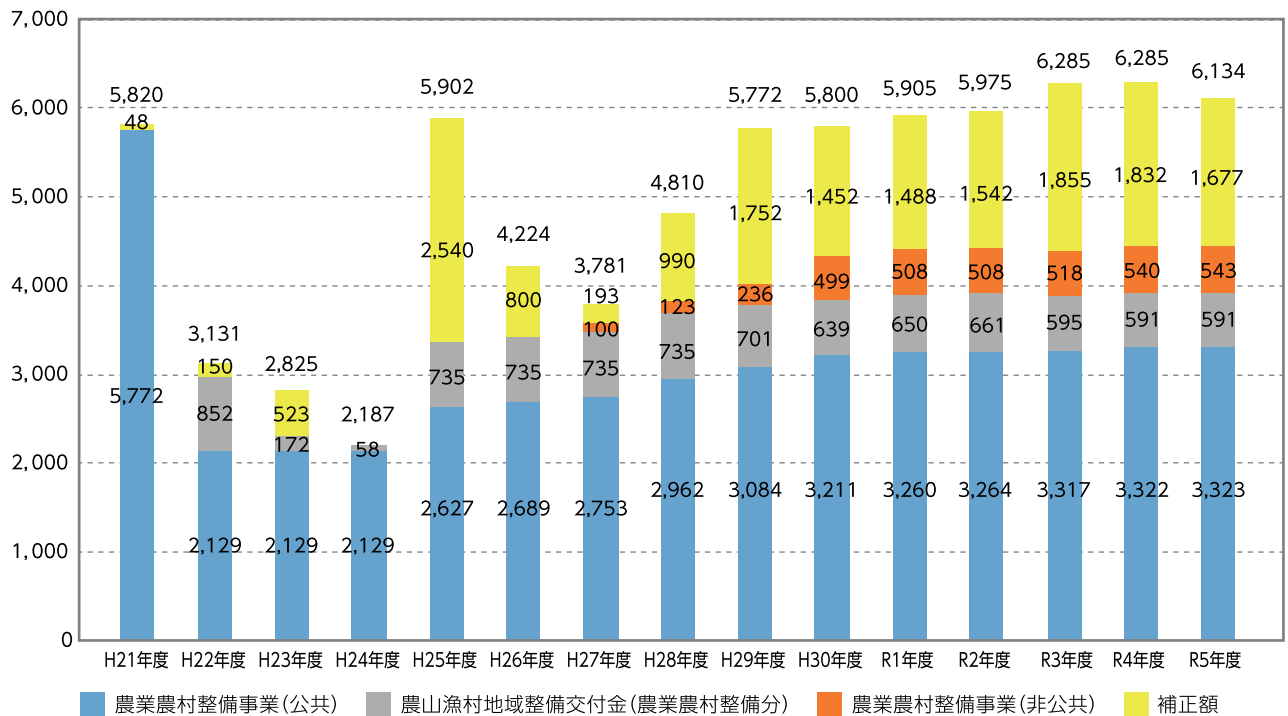
	令和4年度 当初予算額	令和5年度 概算決定額 A	令和4年度 補正追加額 B	合計 A+B
農業農村整備事業(公共)	3,321	3,323 (100.1%)	1,677	5,000 (150.5%)
農業農村整備関連事業(非公共) 〔 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金 〕	540	543 (100.6%)		543 (100.6%)
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	591 (100.0%)		591 (100.0%)
計	4,453	4,457 (100.1%)	1,677	6,134 (137.8%)

(注)1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

2 下段()書きは、令和4年度当初予算額との比率である。

資料:農林水産省Webサイト

農業農村整備事業関係予算の推移



(注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

2 「臨時・特別の措置」を除いた金額である。

(注) 各事項の下段()内は、令和4年度当初予算

農業農村整備事業 <公共>

- 競争力強化のための水田の畑地化・汎用化や農地の大区画化、新たな農業システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、ため池の防災・減災対策や農業用ダムの洪水調整機能強化、集落排水や農道等の生活インフラの整備等を推進。

3,323億円
(3,321億円)

農業農村整備関連事業 <非公共>

- 農地中間管理機構による担い手への農地集積等に向けて、地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善、高収益作物の転換や営農定着、麦・大豆の増産に必要な取組等を支援(農地耕作条件改善事業)
- 農業水利施設のきめ細やかな長寿命化対策や機動的な防災・減災対策を支援(農業水路等長寿命化・防災減災事業)
- 麦・大豆等の畑地化等の生産拡大を推進するため、畑作物・園芸作物を作付けする地域において、畑地かんがい施設の整備や農地の排水改良等の基盤整備をきめ細かく機動的に支援(畑作等促進整備事業)
- 中山間地域等における農用地保全を図るための基盤整備や粗放的土地利用、スマート農業実装促進のための情報通信環境の整備等を支援(農山漁村振興交付金)

543億円
(540億円)

農山漁村地域整備交付金 <公共>

- 地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援

591億円
(591億円)

第44回 全国土地改良大会 沖縄大会

昨年11月22日、沖縄アリーナ（沖縄市）において、第44回全国土地改良大会沖縄大会が開催されました。

この大会は、我が国の農業・農村の更なる発展の向け、農業農村整備の重要性と、それを下支える「水土里ネット」の役割を再認識することを目的としており、当日は、関係者約2,500人が参加しました。

古謝沖縄県土地改良事業団体連合会長による挨拶で開会し、二階全国土地改良事業団体連合会長による主催者挨拶、玉城沖縄県知事ならびに桑江沖縄市長による歓迎のことば、勝俣農林水産副大臣による来賓祝辞がありました。

次に、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名が表彰されました。

本県からは、弓納持博氏（吉川土地改良区理事長、新潟県土地改良事業団体連合会理事）が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞しました。

その後、安部農林水産省農村振興局次長による基調講演、地元の生産法人、土地改良区による優良事例紹介が行われました。

最後に、次期開催県紹介・大会旗引継、山崎福井県土地改良事業団体連合会長による次期開催県挨拶が行われ、大会は滞りなく終了しました。



<二階全土連会長>



<会場の様子>

全国土地改良事業
功績者表彰
受賞者

全国土地改良事業団体連合会長表彰

弓納持 博

吉川土地改良区理事長
新潟県土地改良事業団体連合会理事



新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会

新潟県農林漁業六団体

一般社団法人新潟県農業会議
新潟県土地改良事業団体連合会
新潟県漁業協同組合連合会

新潟県農業共済組合連合会
新潟県森林組合連合会
新潟県農業協同組合中央会

去る1月17日、ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市）において、新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会が開催されました。

この懇談会は、農業・林業・水産業が抱えている現場の声を伝えることにより、行政・農林漁業六団体が一体となって農林漁業の振興を目指すことを目的としたもので、新潟県知事、農林水産部長、農地部長、各団体の会長など約30名が参加しました。

新潟県農業協同組合中央会の伊藤代表理事会長の挨拶で開会し、六団体の代表として新潟県農業会議の石山会長が、花角知事へ要望書を手交した後、各団体から要望事項を説明しました。

本会の三富会長から花角知事へ「離農が加速していることから、担い手確保のため、経営が成り立つ仕組みに本腰を入れて取り組まなければならない」といった要望を行い、知事からは「土地改良だけでなく農村社会そのものの課題だと感じる。皆さんと話し合い、知恵を出し合いながら、農業を、若い世代が魅力を感じる産業にしていきたい」といった力強い言葉をいただきました。



< 花角知事へ要望書を手交 >

本会の要望事項

- 将来の本県の農業生産を支える担い手の確保・育成が急務であるとともに、園芸生産への機運醸成により従来にも増してほ場整備のニーズが高まっている。このため、地域の要望に応える予算の確保とともに、スムーズな園芸導入に向けた支援の充実を図りたい。
- 本県では、安定的な農業生産を継続するための用排水施設を多く抱え、これらの施設は、地域住民の生活にも密着した関係となっている。施設の適時・適切な保管理は、県土の維持・発展に大きく関わる。計画的かつ経済的な補修・更新などを進めるために必要な予算を確保されたい。
- 土地改良区は、農業農村の持続と発展のために大切な制度資本であることから、その安定的な運営や財政基盤の確保は重要である。このため、昨今の燃料費や電気料金の急激な高騰に対する施策及び運営基盤の強化に資する事業の充実を図りたい。

令和4年度 北陸ブロック換地関係 異議紛争処理実務研修会

昨年11月14日、福井県国際交流会館（福井市）において、北陸ブロックの県職員、県土連役職員を対象とした令和4年度北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会が開催されました。

この研修会には、換地に関する異議紛争の未然防止及び早期解決に向け、事例を基に研修し、実務に生かすことを目的として、約30名が参加しました。

全土連の松尾中央換地センター所長の挨拶で開会し、換地を取り巻く状況や3つの事例発表、中央換地センター報告が行われました。

事例発表では、事業参加の意思が乏しい土地所有者を地区に取り込むことで起こりうる問題とそれらの発生を未然に防ぐ対応策について、本会換地部の大川原主事が事例を紹介しました。

参加した本会換地部の職員からは「事前に対応策をとることで、問題の発生を防止できた事例も多いと感じた。今後もより多くの事例の把握に努めたい。」といった感想が聞かれ、有意義な研修会となりました。



< 研修会の様子 >

研修会概要

研修内容	講師
主催者挨拶	全国土地改良事業団体連合会中央換地センター 所長 松尾 房雄
本省挨拶	農林水産省農村振興局土地改良企画課 課長補佐 一條 正成
農政局挨拶	北陸農政局農村振興部土地改良管理課 課長 石田 昭弘
来賓紹介	福井県農林水産部農村振興課 課長 本田 照男 福井県土地改良事業団体連合会 専務理事 野坂 雄二
換地を取り巻く状況について	農林水産省農村振興局土地改良企画課 課長補佐 一條 正成
(内容)・換地処分、交換分合の実績や推移グラフを用いた農用地等集団化事業の実施状況に関する説明 ・換地関係主要税制の推移(適用額)について	
換地関係異議紛争処理事例発表①	新潟県土地改良事業団体連合会換地部換地第2課 主事 大川原 雄也
(内容)・事業反対者である所有者から耕作者に従前地を売買しようとしたが、調整できず地区除外とした事例	
換地関係異議紛争処理事例発表②	富山県土地改良事業団体連合会計画部換地測量課 係長 松井 俊浩
(内容)・地区界と工事施工区域界の相違の指摘を受け是正した事例	
換地関係異議紛争処理事例発表③	石川県土地改良事業団体連合会事業部換地課 課長補佐 東 克己
(内容)・農地整備事業における地区内権利者からの一方的な工事妨害に対し、換地上の取扱方針の協議・調整を行っている事例	
中央換地センター報告	全国土地改良事業団体連合会中央換地センター 所長 松尾 房雄
(内容)・換地技術者の年齢構成や土地改良換地土数のブロック別分析等、換地技術者名簿の分析について ・平成17年～令和3年度までの分類別の換地関係異議紛争処理検討事例の紹介	

令和4年度 土地改良区(連合)理事監事合同研修会

去る2月9日、新潟県民会館(新潟市)において、令和4年度土地改良区(連合)理事監事合同研修会を開催しました。

この研修会は、理事ならびに監事の資質向上を目的として行われ、会場には、約130名が参加しました。

本会の三富会長の挨拶で開会し、土地改良区の運営や男女共同参画に関する4つの項目を設けて行いました。

研修終了後に回収した質問用紙には、耕作者以外が准組合員になるメリットや事例があれば教えて欲しいといった運営に関する質問が寄せられるなど、円滑かつ適切な運営に資する充実した研修会となりました。

研修会概要

研修内容	講師
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 会長 三富 佳一
土地改良区の運営について	農林水産省北陸農政局土地改良管理課 課長 石田 昭弘
(研修内容) ・改正土地改良法による土地改良区の運営について ・土地改良区の業務執行状況の監査について ・理事ならびに監事の職務について	
土地改良区等における男女共同参画の推進について	農林水産省北陸農政局土地改良管理課 団体指導・資金係長 北嶋 誠
(研修内容) ・北陸管内における土地改良団体の女性の参画状況について ・女性理事の活躍事例による啓発といった北陸管内における男女共同参画の推進への取組みについて	
組織運営における新たな取組み	新潟県農地部農地計画課土地改良団体係 係長 圓山 亮
(研修内容) ・土地改良区における男女共同参画の推進に向けた女性理事の登用について ・土地改良区における人権に関する担当の配置や啓発活動の取組み状況について	
女性参画に関する情報提供	新潟県土地改良事業団体連合会総務部総務課 課長補佐 劔物 由紀
(研修内容) ・全国の水土里ネット女性の会の設立状況及び活動事例の紹介 ・女性農業者の取組み事例の紹介	



< 石田課長 >



< 北嶋係長 >



< 圓山係長 >



< 劔物課長補佐 >

令和4年度 ほ場整備地区営農プラン 意見交換会

昨年11月24日、県土連ビル(新潟市)において、令和4年度ほ場整備地区営農プラン意見交換会を開催しました。

この意見交換会には、各地区の課題等の情報を、関係機関と共有し、営農プランの実現に資することを目的に、下越及び佐渡のほ場整備地区の農業者や関係団体等、約100名が参加しました。

新潟県経営体育成農地集積促進協議会の濱田会長の挨拶で開会し、ほ場整備地区における所得の確保や農地の集積・集約化に関する研修の後、各地区の営農プランの発表と意見交換を行いました。

意見交換では、「営農を続けていくにあたり、担い手の確保が重要となってくるが、どのように考えているか」という質問に対し、地区の関係者からは「地域の方々に私たちのことを知ってもらえるよう広報活動を行うほか、従業員の家族等に声掛けをしたりしながら、後継者の確保に取り組んでいる」といった紹介があるなど、担い手確保に関する対応策などの情報を共有でき、有意義な意見交換会となりました。

また、昨年11月28日、上越文化会館(上越市)において、新潟会場と同様の内容で、上越及び中越地区のほ場整備地区の農業者等を対象に意見交換会を開催し、約80名が参加しました。

意見交換では、「ぶどうやトマトといった園芸作物の根域制限栽培に興味を持った。栽培は容易にできるものなのか」という質問に対し、県農地部農地整備課の堀副参事からは「プランターの1つ1つに水と肥料を入れなければならない、手間がかかる。また、自動管理装置等を使えば、手間がかからないものの費用が高むといった問題がある。」といった紹介があり、園芸作物の導入に関する課題等の情報を共有でき、有意義な意見交換会となりました。



< 濱田会長 >



< 堀副参事 >



< 新潟会場の様子 >



< 上越会場の様子 >

非補助農業基盤整備資金のご案内

国の補助を受けない土地改良事業・生活基盤整備事業等に対して、
低利の融資が受けられます。

非補助農業基盤整備資金とは

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国の補助なしで、かんがい排水や維持管理などの事業を実施して農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金です。

ご利用いただける方

土地改良区、土地改良区連合(事業主体になる場合に限る)等

融資対象事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、維持管理、暗渠排水、客土、農道、索道畦畔整備、農地造成、農地保全、防災、農地保全、農業集落排水、その他

利 率

0.90 % (令和5年2月20日現在)

※固定金利であり、償還が終わるまで適用される金利は変わりません。

※金融情勢等により貸付金利は変動しますので、最新の利率を確認する際には、日本政策金融公庫新潟支店農林水産事業(TEL 025-240-8511)にお問い合わせ下さい。

(注)金利情勢の変化等にかんがみ利子軽減事業は平成8年より当分の間中止しています。

償還期間

25年以内(うち据置期間10年以内)

融資限度額

最高限度額：当該年度に借入者が負担する額
(農業集落排水事業では一部施設ごとに限度額を設定)

最低限度額：融資1件につき50万円
(災害復旧事業の場合は、1件につき10万円)

非補助農業基盤整備資金を活用した事業例など、この資金の詳細については、
北陸農政局のホームページをご確認下さい。

アドレス http://www.maff.go.jp/hokuriku/nnjigyou/shikin_index.html



みのりみらいプラザの見学

昨年12月2日、新潟市立阿賀小学校の4年生48名が、芦沼の歴史や農業用施設の役割を学習することを目的に、本会2階に備える資料館「みのりみらいプラザ」を見学しました。

「みのりみらいプラザ」には、昔の亀田郷内の農業の様子や農具の模型などを展示しています。

亀田郷の歴史を振り返った映像を視聴した後、農業や土地改良に関するクイズを解きながら展示コーナーを回り、過酷であった農作業の状況や県内の農業用施設などについて学んでいました。

今後も小学校の課外学習などに役立てていけるよう取組んでまいります。



< 見学の様子 >

令和4年度 安全管理推進ポスターについて

用水路やため池への転落防止等を呼びかける安全管理推進ポスターの令和4年度版を作成しました。

本会ホームページの「会員向け資料ダウンロード」よりダウンロードいただけます。

安全管理推進のほか、地域への啓発活動としてご活用ください。



< 安全管理推進ポスター >

連合会日誌

1月 6日 (金)	都道府県土地改良事業団体連合会 ブロック代表事務責任者会議	オンライン
	都道府県土地改良事業団体連合会 事務責任者会議	オンライン
17日 (火)	農林漁業六団体会長会議	新潟市
	新潟県知事と農林漁業六団体との懇談会	新潟市
2月 2日(木)～3日(金)	令和4年度 地理情報システム高度利用推進事業研修会	オンライン
7日 (火)	令和5年度 地財及び組織・定員に関する地方キャラバン	オンライン
8日 (水)	農業農村整備事業に関する意見交換会(国予算キャラバン)	新潟市
9日 (木)	令和4年度 土地改良区(連合)理事監事合同研修会	新潟市
15日 (水)	監事会監査	県土連ビル
16日 (木)	インボイス制度説明会	県土連ビル (オンライン同時開催)
	土地改良区決済金等支援に関する説明会	県土連ビル (オンライン同時開催)
21日 (火)	正副会長会議	県土連ビル
22日 (水)	都道府県土地改良事業団体連合会 事務責任者会議	オンライン
	令和4年度 農業農村整備広報会議ブロック代表事務責任者会議	オンライン
28日 (火)	理事会	新潟市
3月 1日(水)～2日(木)	令和4年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会	県土連ビル (オンライン同時開催)

今後の予定

3月 22日 (水)	第65回 通常総会	県土連ビル
	第63回 土地改良功労者表彰式	県土連ビル
23日 (木)	全国土地改良事業団体連合会 第65回通常総会	東京都
	令和4年度 全国土地改良功労者等表彰式	東京都

表紙写真紹介



おぢや風船一揆

(新潟県小千谷市)

おぢや風船一揆は、真っ白な雪原にカラフルな熱気球を浮かべる、小千谷市を代表する冬のイベントです。

40年以上の歴史を持つ本イベントには、全国から多数の参加者が訪れ、2日間で約40機の気球が空を舞います。

熱気球と花火がコラボレーションする「グローバルフェスティバル」や熱気球の試乗体験などが行われ、参加者に夢と希望と感動を届けています。



未来の「水」「土」「里」を創造する

